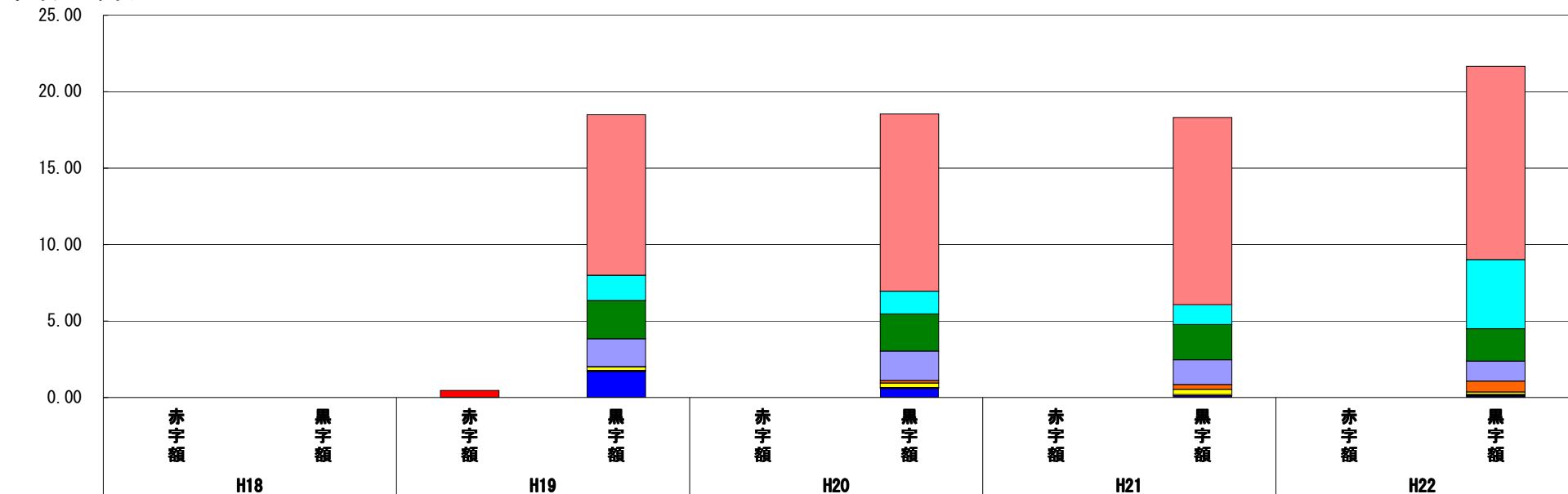


(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成22年度

広島県廿日市市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度		H18	H19	H20	H21	H22
会計						
水道事業会計		-	10.51	11.60	12.25	12.64
一般会計		-	1.65	1.49	1.30	4.52
国民宿舎事業会計		-	2.50	2.43	2.31	2.12
水族館事業会計		-	1.82	1.92	1.61	1.31
国民健康保険特別会計		-	0.02	0.17	0.32	0.71
介護保険特別会計		-	0.23	0.29	0.34	0.16
漁港管理特別会計		-	0.07	0.07	0.08	0.07
小規模下水道事業特別会計		-	0.00	0.00	0.00	0.04
その他会計（赤字）		-	▲ 0.46	-	-	-
その他会計（黒字）		-	1.70	0.58	0.11	0.09

分析欄

平成19年度の「その他会計」の赤字額については、老人保健特別会計であり、見込んでいた歳入の交付金や負担金が翌年度交付となったため、歳入11,352百万円、歳出11,469百万円で実質収支が△117百万円の赤字となった。

平成20年度以降、一般会計等の実質収支額は赤字となっていない、また公営企業会計の資金についても不足は発生していない。

いずれもトータルで黒字であるため健全化判断比率に係る連結赤字比率は算定されない。

比率の高い水道事業会計については、後年度に見込まれる施設、設備の更新の負担増に備え、資金を留保しているため増加している。

○H22における主な各会計の実質収支額又は資金剰余額（分子）

水道事業会計3,397百万円、一般会計1,215百万円、国民宿舎事業会計569百万円、水族館事業会計351百万円、国民健康保険会計190百万円、介護保険特別会計44百万円、漁港管理特別会計20百万円、小規模下水道事業特別会計10百万円

○標準財政規模（分母）

平成22年度 26,869百万円

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。